

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
21112	生活と法律 Law in Daily Life	築山 欣央		基礎	2	選択	2年後期

科目の概要

本講義は、身近な法律（法）について講義をおこなう。ここでは、憲法をはじめとして、民法と民事訴訟法、刑法と刑事訴訟法の内容を基本として解説する。本講義の内容では、食物栄養学科のディプロマ・ポリシーに資する点として、「自立した社会人として、一般的知識と技能と常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で貢献できる」人材の育成につながる点をみることができる。このため、受講生がそれぞれの法律（法）の基礎的な知識を習得し、生活に関わる法律（法）の仕組みと役割を深く理解することを目標とする。

学修内容	到達目標
日本国憲法の基本的内容を理解する。 民法と民事訴訟の基本的内容を理解する。 刑法と刑事訴訟法の基本的内容を理解する。	憲法の役割、基本的人権のあり方、国家組織の働きについて簡潔に説明できるようになる。 民法をはじめとする取引などに関わるルールの基本的内容を理解し、説明できるようになる。 刑法をはじめとする犯罪に関わるルールの基本的内容を理解し、説明できるようになる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	率先して、日頃からルール（法）への理解を深めるよう、身の回りの情報を意識することができる。
	働きかけ力	
	実行力	身近な法（ルール）について、自身の日常生活で実践できる。
考え抜く力	課題発見力	身の回りの場面で、具体的にひそむ問題・課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	課題・問題のよりよい解決法が他にある場合、それに気づくことができる。
チームで働く力	発信力	与えられた課題やテーマにつき、自身の考え方を組み立て示すことができる。
	傾聴力	授業内容や他の学生とのやり取りに対し真摯に耳を傾け、その場や授業後の協働につなげることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

- ・テキスト（必ず入手）：品川皓亮（こうすけ）『日本一やさしい法律の教科書』（日本実業出版社、2011年、1728円）
- ・授業中にレジュメや参考資料を配布する。

他科目との関連、資格との関連

社会福祉概論

学修上の助言	受講生とのルール
日々のニュースの中にある、法律（法）にかかわる場面を徐々に意識できるよう、毎回、具体的な記事を配布する予定である。自ら新聞などのニュースに、積極的に目を向けるようにしてほしい。	他の受講生の学習を妨げることをしない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・ 実技・口述試験	70	①	✓	・基本的に記述式の問題に取り組む作業の試験となる。 ・(総合評価でなく、筆記試験での水準として)授業で取り上げた用語や原則などの内容につき、適切に理解しテスト内での確に説明できているものをA評価、ほぼ説明できていると捉えられるものをB評価、ある程度理解しているとみなされるものをC評価とする。 ・テキスト、授業での配布プリント、自筆ノートを持ち込み可とする。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	20	①	✓	・それぞれの授業の後半時間で、具体的なニュース記事(資料)を配布し解説する。その時に適宜テーマを与えごく簡単なレポート作業を複数回(毎回ではない)する。 ・これは下記「社会人基礎力(学習態度)」と密接に関連する。 ・「レポート」+「社会人基礎力(学修態度)」で合計30点と考える。
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤		
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	上記レポートの際、その取組み姿勢において、以下の点が重要となる。 ・課題発見力：身の回りの場面で、具体的にひそむ問題・課題を発見することができる。 ・創造力：課題・問題のよりよい解決法が他にある場合、それに気づくことができる。 ・発信力：与えられた課題やテーマにつき、自身の考え方を組み立て示すことができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
			⑤			
総合評価 割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
講義で説明した内容につき、試験とレポートと社会人基礎力(学修態度)それぞれを総合的にみて、90%相当の理解を確認できた場合S(秀)とみなす。90%相当とは、(1)ごく簡単な基本内容(用語や論点)の説明だけでなく、(2)それらについて背景をふくめある程度まとまった文章で解説ができ、各問題において優れた内容で示すことができた場合をいう。A(優)は、総合的にみて、上記の点を相当の程度文章としてまとめ解説ができた場合をいう。	試験において、各問題への解答を総合的に考慮し、(1)ごく簡単な基本内容の説明ができ、(2)基本原理について背景を含めある程度解説ができ、比較的良好とみなされた場合、B(良)に達したと捉える。上記(1)と(2)につき、試験の内容等を全体的に考慮し、平常の学習内容の取組みをしていたものと確認できる場合、C(可)と判定する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	法律を学ぶ 法律とは何か最初の基本を理解する。法律の解釈の仕方を簡単に知る。	講義 ガイダンス	法律を学ぶことにつき、基本的な内容を理解し、説明できる。	(予習)教科書p.10～24の序章をじっくり読み、法律を学ぶイメージを思い描く。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
2週 /	憲法1 憲法の特徴と構造を学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	憲法の3つの特徴について説明できる。憲法の基本構造を理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.27～39を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
3週 /	憲法2 憲法上の人権の性質と種類について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	人権の3つの種類についてそれぞれを理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.41～56を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
4週 /	憲法3 自由と人権の限界について理解する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「公共の福祉」について理解し、説明できる。「二重の基準論」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.57～74を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
5週 /	憲法4 立法権、行政権、司法権の役割につき学習する	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「立法権」、「行政権」、「司法権」、「三権分立」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.75～92を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
6週 /	憲法5 統治の基本制度につき学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「議院内閣制」、「違憲審査権」、「司法権の独立」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.93～107を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
7週 /	民法1 民法の基本と大原則について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	民法上の権利と義務について理解し、説明できる。「私的自治の原則と例外」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.111～125を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
8週 /	民法2 民法の本質部分(エッセンス)について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「意思表示」について理解し、説明できる。について理解し、説明できる。「意思主義と表示主義」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.127～143を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	民法3 物に関する権利について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「物権変動と公示の原則」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.145～162を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
10週 /	民事訴訟法 民事訴訟法の特徴について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	民事訴訟法の全体像、目的について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.181～198を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
11週 /	刑法1 刑法の機能と犯罪の成立要件について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	刑法の2つの機能、犯罪成立の3つの段階について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.201～214を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
12週 /	刑法2 違法性と正当防衛について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「刑法における違法性」の意味、「正当防衛」、「偶然防衛」について理解し、説明できる。	(予習)教科書のp.215～232を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
13週 /	刑法3 窃盗罪の保護法益について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	「窃盗罪の保護法益」について、2つの考え方の立場を説明できる。	(予習)教科書のp.233～250を読み、理解を深める。 (復習)授業内容を振り返り、教科書を読み直す。	180	主体性 課題発見力 規律性
14週 /	刑事訴訟法 刑事訴訟法の役割と目的について学習する。	講義 適宜、質疑応答によるフィードバック	刑事訴訟法の本質部分(エッセンス)について、理解し、説明できる。	刑事訴訟法の本質部分(エッセンス)について、理解し、説明できる。	180	主体性 課題発見力 規律性
15週 /	まとめ	講義	これまでの全体を振り返り、期末試験(アウトプット)のため整理ができています。	(予習)これまでの授業内容を確認する。 (復習)この回の授業中に示された幾つかのポイントを重点的に理解し、自身の知識を整理する。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力